



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

活動報告書

久米川なかよし保育園

ふたばぐみ（1歳児）

1 活動のテーマ

音

2 問いを考える

身近な音に触れ、
音を出して聞いてみよう

1月 音楽に合わせて踊ろう
2月 身近なおもちゃで遊ぼう

3 環境をデザインする 活動のために準備した素材や道具

- 音のなるおもちゃ
- 段ボールの泰子、バケツ
- 廃材で作った手作り楽器
- 音源(iPad)

どんなものから音がするかな？
たたいたり、揺らしたり、子どもの興味の赴くまま
音を出してみる。
「選択的聴取」にならないように環境を整えておく

4 探究活動の実践

さあ 誰の剣が
「バーン」って
なるかな

振るあれ？なんか聞こえ
るね♪



先生からも『ドキドキ』
『スヤスヤ』(笑)



大きくたたくと大きな音
小さくたたくと小さな音だ
ね



紙をくしゃくしゃ、びりびり
『音』だね



「この音知ってるー」いろん
な音を見つけました



太鼓と、鳴子っていうんだよ

5 振り返り

子どもにとっては初めての音もあったはず。
「〇〇みたいなおと」と言葉で表現するのは難しい年齢でもあったが、「あっ、なんか聞こえる」と表現でき、次々に「次は？」と積極的に取り組んでいた

振ったり、たたいたり、
子どもの力で出せる楽器も多く、楽しんで音に触れていた。また音楽を流すと、自然と体を動かしたり、楽器を使って音楽

ピアノの音が聞こえるとなぜか音ですね。
楽に合わせて自分の音を出す子ども達。不思議ですね。曲が終わると「もういっぱい」子ども達にとっては音は楽しい！そう表現してくれているように感じた

おと

『どんな音』クイズ
祇園での遊びの毎日、実際に音源で本物の音を聞いてみると「あれ？」と思う音も多く、大人も真剣に耳を澄ませていた。

段ボールの箱を手でたたく。みんなでたたく。1人が大きくたたくとつられてみんなも大きくたたく。顔を見合わせてたたいたり、みんなで踊りだしたりと、音を介してコミュニケーションが広がっていく様子も見れた。

楽器の概念はまだ難しいが「これはどんなおとかな？」と変化を感じることが大切だと思った。大きな音は楽しい気分になり、優しい音は、心地よい音を自然と見つけているように思えた